

日時 : 2009 年 11 月 27 日(金) PM 1:00 ~ PM 4:00
 場所 : 塗料報知新聞社 会議室
 出席者 : 窪井氏(久保井塗装工業所)、小林氏(オーウエル)、小泉氏(小泉塗装工業所)、
 松本氏(東和酵素)、神尾氏(優工社)、島田(旭サナック)
 アドバイザー:坂井氏(日本工業塗装協同組合連合会技術顧問)
 オブザーバー:神田氏(日本工塗連)、平野氏(CEMA)
 事務局:有馬氏(塗料報知新聞社) 10 名 敬称略

***** 議 題 *****

1. 高度化協議会(環境技術分科会)活動の普及

(1) 関西地方開催セミナー(2010.2 月開催)の詳細決定

先月から調整を行っている大阪地方VOCセミナーについて関西工業塗装協同組合殿からの要望事項を確認し、環境技術分科会の対応内容を協議、決定した。

大阪地方VOCセミナーは工塗連理事会、11月11日(水)関西工塗協の理事会にて承認済。

【要望事項】

- ・運営/事務局 関西工業塗装協同組合
- ・発表内容は、平成22年 6 月 18 日 東京地区のセミナー内容と同様。
- ・取捨選択して講演者 2 名、2 時間の講演時間に収める。
- ・開催日時 平成 22 年 2 月 25 日(木)、2 月 26 日(金)、3 月 4 日(木)、3 月 5 日(金)から選択。
 開催時間 17:30~19:30 開催場所 大阪塗料会館

【決定事項】

① 期日/会場

平成 22 年 2 月 26 日(金) 17:30~19:30 大阪塗料会館

② プログラム及び分科会対応者(座長・講演者)

17:30~17:35	開会の挨拶	関西工業塗装協同組合 副理事長 大内田 昭次
17:40~18:00	基調講演 『VOC・コスト同時削減の取り組み』	日本塗装機械工業会 専務理事 平野 克己
18:00~18:45	『洗浄シンナ削減と水性塗装へのトライ』	有限会社 久保井塗装工業所 窪井 要
18:45~19:30	『バイオによる塗装ブーススラッジの再資源化』	東和酵素株式会社 内山 貴識
19:30~	閉会の挨拶	関西工業塗装協同組合 理事 花原 隆夫

発表40分 質疑応答時間5分の時間配分とする。

- ・平野氏は座長と基調講演を兼務して頂く。
 座長として、講師紹介、資料のダウンロード(CEMA紹介とHPからのダウンロード)可 など。
 基調講演では、6 月 18 日セミナーの状況、業界動向、高度化協議会の役割、分科会活動成果のまとめと今後の取り組み など。
- ・窪井氏はブースの洗浄シンナによるコスト削減事例、剥離剤の有効活用事例、VOC処理装置と水性塗装にまとめ上げる。
- ・内山氏は 6 月 18 日発表内容を短縮(50 分→40 分)

③ 分科会準備事項

- ・プロジェクター(CEMA機材)、パソコン(平野氏)を使用。
- ・レーザーポインターも用意(CEMA備品)。

④ 配布資料

- ・プログラムは工塗連理事会提出(案)をベースに上記プログラムに変更し、関西工業塗装協同組合の事務局へ配信。(担当:神田氏 12/1 まで)
- ・当日の配布物は無し。発表資料類はCEMAのHPより個別に取り出して頂くようにする。

⑤ 関係者スケジュール

- ・当日関係者集合場所/時間 大阪塗料会館 17:00 集合。
- ・17:00~17:30 機材(投影、動画確認)準備。当日はマイク無し。
- ・受付などは関西工業塗装協同組合殿にて対応。

【分科会からの関西工業塗装協同組合殿への要望事項】

- ・CEMAのHP(CEMAニュース 12月号)掲載することの打診。
- ・大阪塗料商業協同組合殿への参加PRの依頼。(確認:神田氏)

2. 分科会活動の新たなテーマと進捗について

多くの活動を進めて現在までに成果が得られたものや課題が残っているものもあり、一度整理する意味で分科会メンバーの意見を収集し整合した。

(1) テーマ

① テーマの基本

基本はVOC削減の自主的取組につながるものをテーマとする。

また省エネ、CO₂削減は熱やエネルギー削減なども塗装工程の大きな取組み課題であり、テーマに取上げる項目として位置付けた。

② 目標

現場で活用できる具体的な方法を分科会で作り上げることとした。

(2) 継続/新規テーマの確認

メンバーより継続テーマについては経過と課題の確認を行い、新しいテーマとして検討するものについて意見交換した。

① スラッジ再資源化

・目標

再資源化(再生品化)の可能性を得る。

・課題

回収方法 …… ブースリフレッシュャートライ、土のう、フィルター回収実施済。

(価格と作業量の課題あり)

乾燥手段 …… 乾燥装置試作 廃熱利用方法の条件収集。(規模に応じて対応必要)

ペレット化 …… 2社でペレット化トライ実施済。(運用のしくみ、安全性などが課題)

成型化 …… 可能性を得た。成型物の選定も実施。(型費用など価格面が発生)

② 洗浄液削減

・目標

具体的な洗浄シンナー使用量削減方法を見出す。 → 達成。

・現在の活動

各地方、主催セミナーにて普及活動実施中。(第一塗装 早川氏)

・課題

実際に使用量やVOC削減に貢献できているか、情報を得る手段が無い。

工塗連関連会社で推進による情報収集など今後検討が必要。

③ 環境対応塗料(水性、粉体:新テーマ)

・目標

現状設備で使用できる方法を作り上げる。

・課題

水性:塗料メーカー、日本塗料工業会の協力が必要。

粉体:現在必要としている市場要求のまとめ。

水洗スクラバーによる粉体粒子の捕獲について

部分回収装置の有効性について・・・次回装置の概要を分科会で紹介する。(島田)

(3) 継続/新規テーマのまとめ

上記内容など各テーマ別に課題と進捗をまとめた。

環境技術分科会テーマ経緯

分類	テーマ	担当	2007	2008	2009	2010
			12月 VOCテーマ	3月 アンケート	6月 セミナー	2月関西セミナー、第2回セミナー
1. 溶剤使用量	洗浄方法見直し			→	→	継続
	作業見直し	広瀬		→	→	→
	設備変更	島田 杉山		→	→	→
				検証	普及活動(発表) 早川氏	ほか
2. 環境対応塗料展開	水性塗料	窪井		トライ	→	継続
	水性塗料検討	窪井・小林		→	→	→
粉体塗装	既存設備対応	内山G・島田・小泉				新規
	少使用量対応	-				バイオスクラバー、部分回収装置
3. 排気ガス処理	バイオスクラバー	内山G		→	→	検証
4. 塗料スラッジ減容化	バイオ処理	内山G		→	→	→
	スラッジ回収効率	広瀬・杉山		→	→	→
	乾燥方法	内山G・澤居		試作(スラッジ乾燥装置)	→	→
リサイクル化	ペレット化	内山G		→	→	1次評価
	成型化	内山G・有正		→	→	継続
	しくみ	全員		→	→	継続
関連テーマ						
1. 安全対策	業界標準化/出版	平野・神尾・窪井			→	→
2. ゴミ・ブツ対策	業界標準化/出版	内山・平野			→	→

ゴミ・ブツ対策

塗装ラインにおけるゴミ・ブツや清掃基準に対する刊行物(出版物)の取組みは、次回以降に持ち越す。

3. 次回予定

第 19 回 環境技術分科会

2010 年 1 月 28 日(木) 午後 13 時 ～ 17 時 塗料報知新聞社会議室

< 予定議題 >

- ・関西セミナー開催(2010.2 開催)の最終(発表内容など)確認
- ・分科会テーマ
 - スラッジ乾燥装置の追加報告(澤居氏)
 - 廃熱処理のモデル企業調査報告(松本氏)
- ・ゴミ・ブツ削減の進捗
- ・新しいテーマ(粉体)
 - 設備紹介(島田)
- ・MMRC の鈴木氏の参加予定(窪井氏)

尚、第 2 回 安全対策分科会が午後 11 時～12 時 同日同場所にて開催します。
予定議題など詳細は第 1 回 安全対策分科会 議事録参照。

————— 以 上 —————